

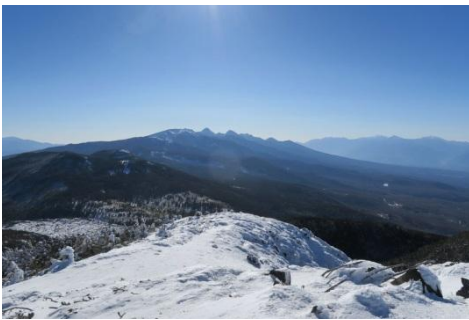
暖冬の続く今冬、少しでも雪の期待できる信州へ向かう。双方とも体調も今ひとつであり、初登山はゆっくり目の北八ヶ岳辺りとした。3日夜出発、道の駅で仮眠して北八ヶ岳ロープウェイで坪庭まで行く。天気は快晴、山行としては申し分のない天気だが、標高2,200m余りの坪庭でもあまり雪が無い。まずはポピュラーな北横岳を目指す。アイゼンなしでも十分登れそうな感じだが、安全をみてアイゼンを付ける。北横岳まで、1時間程、標高差240m程登る。

山頂に着くとさすがに少し風がある。それでも冬とは思えない穏やかな天気だ。雪が少ないのは残念だが、天気が良く、眺望の良さに救われる。南峰、次に北峰へ行き写真を撮る。八ヶ岳や南アルプス、中央アルプスの



(春のような坪庭)

眺望は素晴らしいのだが、逆光の為、写真は綺麗に撮れない。霧ヶ峰には全く雪はなく、



(北横岳南峰から八ヶ岳、右、南アルプス)



(北横岳北峰から蓼科山)

蓼科山も殆ど雪が無い。まるで春山のような。少し休み展望を楽しんだ後坪庭まで戻る。時間も十分あるので、次に縞枯山へ向かう。坪庭から見ると縞枯山も殆ど雪がない。

縞枯山まで、標高差200m弱であるが、急な坂が続くため意外にきつい。展望の利かない縞枯山の標識のあるところま



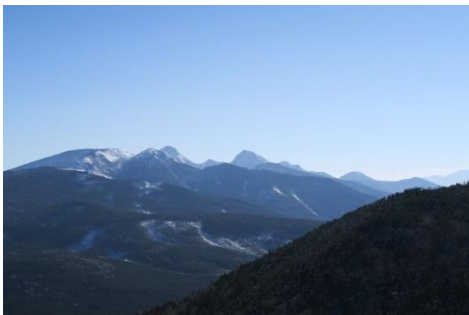
(坪庭から見た縞枯山)

では40分程で着く。さらに10分余り歩き、縞枯山展望台まで行く。ここからは、八ヶ岳も綺麗に見える。手前に天狗岳、硫黄岳、赤岳、阿弥陀岳と続く。

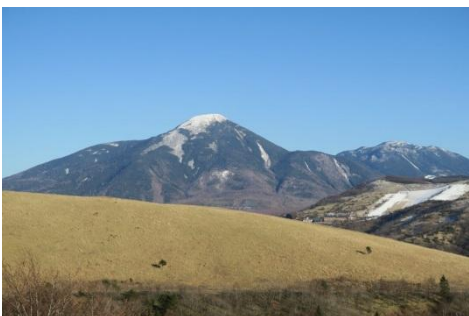
ロープウェイの駅まで戻ったが、時間も十分あるので、まずはテントの張れる場所を探し、次に霧ヶ峰方面へドライブする。今がスノーシューハイクシーズンの霧ヶ峰には雪は無く、車山スキー場も人工雪で何とか営業している感じだ。景

色を楽しんだ後、テント場へ向かう。

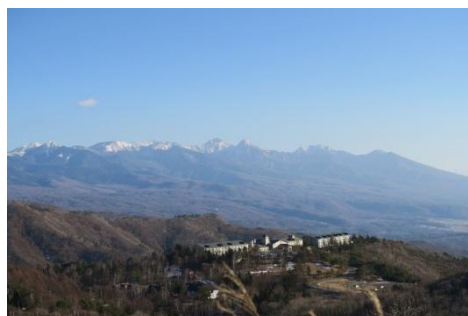
翌朝、のんびり7時頃起き、8時過ぎに蓼科山の女神茶屋の登山口に向かう。この辺りの標高は1,740m前後なので、今日は800m



(縞枯山展望台から八ヶ岳)



(霧ヶ峰から見た蓼科山、右奥、北横岳)



(霧ヶ峰から見た八ヶ岳連山)

程登ることになる。登山道は、陽当たり具合で雪があったり無かったりだが、岩の剥き出しているところも多く、アイゼンでは少し歩き辛いが、流石に気温は低く、踏み固められ雪が凍っているところも所々出てきて結構滑る。仕方なく途中からアイゼンを付けたが、アイゼンなしで歩いている人もいる。山頂付近の雪状態は写真の通りで、これが1月とはとても思えない。天気は良いものの遠くの山々は霞が強く、あまりよく見えない。

頂上を直ぐ降りたところで少し休憩し、そのまま下山し、今回は、温泉に入ることもなくそのまま帰阪する。新春、まあまあの初登山でした。



(蓼科山、山頂手前)



(蓼科山、山頂下の看板)



(蓼科神宮奥社)

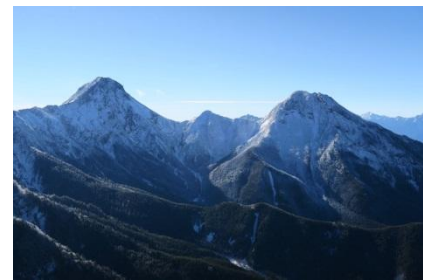
ところで、1/9~1/10 と硫黄岳へ行きましたが、やはり雪は少ないままでした。



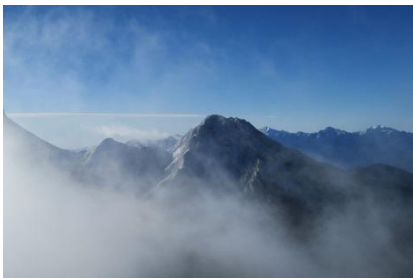
(赤岩の頭から硫黄岳)



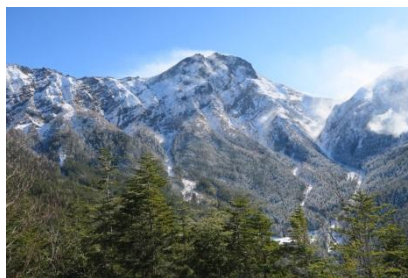
(赤岩の頭から横岳、右、赤岳)



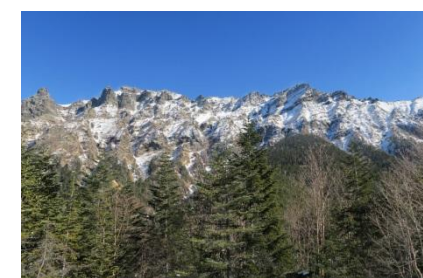
(赤岩の頭から赤岳・阿弥陀岳)



(硫黄岳山頂から阿弥陀岳)



(中山展望台から赤岳)



(中山展望台から横岳)